

## スティーブン・マイズン教授考古学講演会のご案内

このたび、日本心理学会でのシンポジウム講演のため来日されるスティーブン・マイズン教授の講演会を、下記の要領にて開催いたしますのでご案内申し上げます。

マイズン教授は、イギリス・レディング大学人間環境学部長を勤める考古学者で、認知考古学の世界的権威です。日本では、ミズンの名で知られ、『心の先史時代』（青土社）、After the Ice (Weidenfeld & Nicolson) 等の著書があり、最近では『歌うネアンデルタール』（早川書房）が翻訳・刊行され話題を呼んでいます。

教授は西アジアをフィールドとした調査も行っており、今回の講演では、その成果についてお話を伺う予定です。

万障繰り合わせの上ご参集願えれば幸いです。なお事前申し込みは必要有りません。直接会場までお越し下さい。

### 記

1. 日 時 2006年10月28日(土) 午後3時～5時
2. 場 所 東京大学本郷キャンパス 法文1号館3階315教室
3. 演 題 The Origin of the Neolithic and Farming in the Jordan Valley.  
(通訳付きの予定)

\* なお講演会終了後、マイズン先生を囲んで簡単な懇親会を設ける予定です。ふるってこちらにも、参加ください。

\* 本公演会は、21世紀COE「心とことば：進化認知科学的展開」（代表者：東京大学大学院総合文化研究科・長谷川寿一教授）と特定領域研究「西アジア旧石器時代の行動進化と定住化プロセスの関係」（代表者：東京大学大学院人文社会系研究科・佐藤宏之助教授）の共催です。

### 〈 問い合わせ先 〉

佐藤宏之

東京大学大学院人文社会系研究科

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

TEL・FAX 03-5841-3795(居室)・3793(研究室)

Mail: hsato@l.u-tokyo.ac.jp